

うちなだ 議会だより



一年の計は？

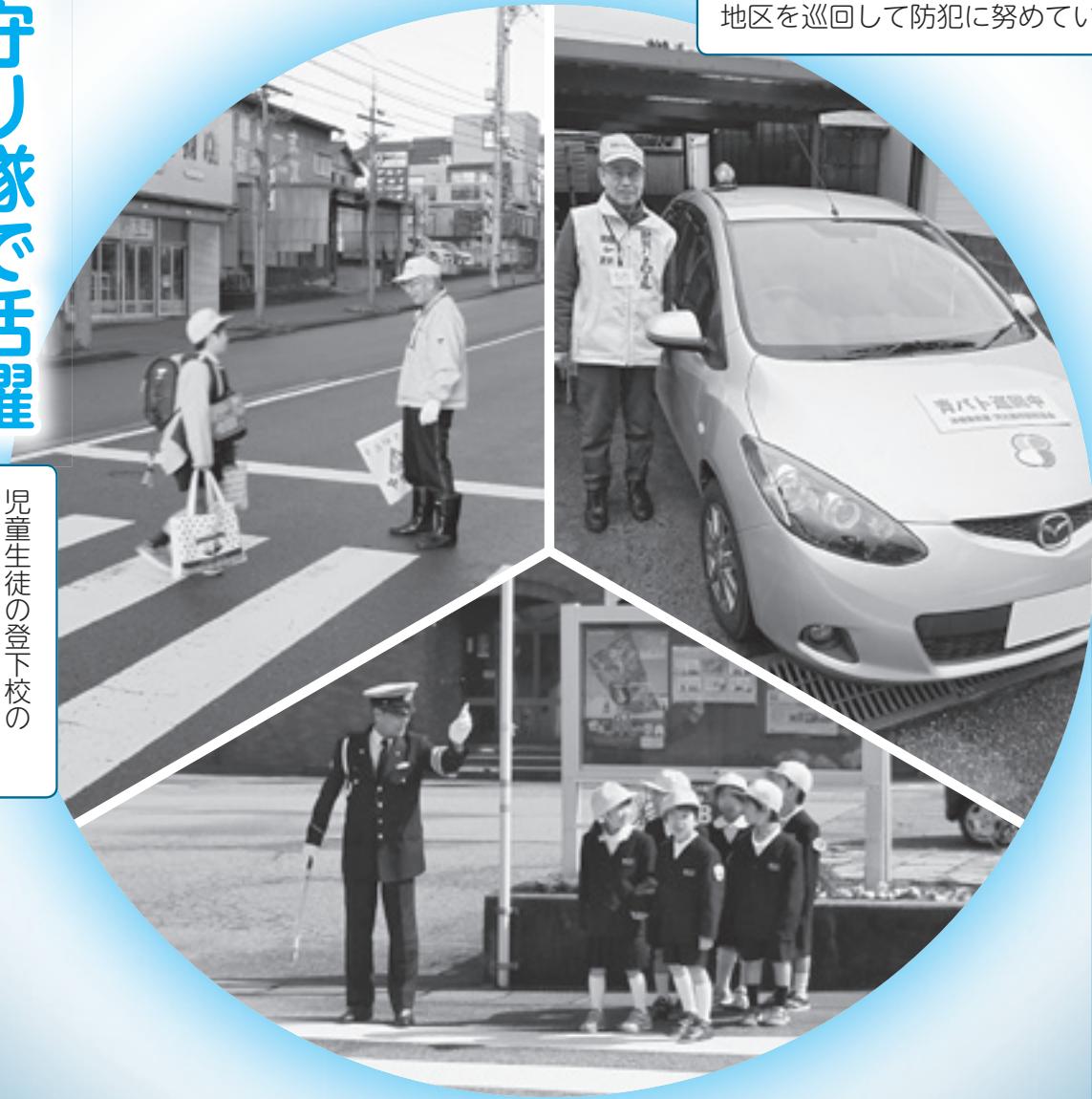
Vol.128
平成29年(2017)
2月3日発行

石川県内灘町議会

地域で活躍・安心社会へ

地域見守り隊で活躍

児童生徒の登下校の安全を見守っています。



安心パトロール

車両に青いランプを装着し、地区を巡回して防犯に努めています。

推進隊も応援

町内全域にわたり、交通事故の防止や防犯のため、安全意識の向上を図っています。

内灘町議会

12月会議

教育予算を拡大

6 請願の審査 討論!
11月会議

賛否の分かれた議案一覧

白帆台小学校 建設工事すすむ

委員会レポート

一般質問 8人が登壇

視察・研修レポート

- ・主体的な取り組みが力ギ
- ・地域の声がポイント
- ・「伝わる議会広報紙」を学ぶ
- ・議会広報対策特別委員会

表紙のことば
「一年の計は?」

1月10日 大根布小学校での書初め
今年はどんな年になるのかな、大きく成長したいな、そんな思いにワクワクしながら今年の目標を立てるのもいいものです。

20 19

18 9 8 7 6 4

街かどインタビコ

緑台 松田六郎さん



いそめかい
射初会 (弓道協会)

を拡大

中学校にエアコン導入決まる

12月会議
6日～15日

平成28年内灘町議会12月会議が開催され、補正予算のほか、条例、指定管理者の指定など計12議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

白帆台小学校建設

工事費 **1億400万円**

監理業務委託料 **100万円**

白帆台小学校プール及びグラウンド工事(Ⅱ期分)。



「ほのぼの湯」

管理用備品購入費

550万円

開館に伴う管理用備品(家具、家電備品等)を購入。



完成イメージ図

補正予算

一般会計補正予算(第5号)

(賛成10人 反対2人)

2億2211万5千円を増額し、総額109億2397万5千円としました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

国庫補助の減額に伴い、1億3092万円を減額しました。

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

被保険者数の減少等により、3732万5千円を減額しました。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(全員賛成)

保険料の増額による後期高齢者医療広域連合への負担金の増額等により、1322万7千円を増額しました。

介護保険特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

保険料の増額による基金積立等により、796万円を増額しました。

条例の改正

茶室条例を改正

(全員賛成)

内灘町公共施設管理公社が指定管理している内灘町茶室(惜亭・自在庵)を、平成29年4月から町教育委員会が管理する。

手数料徴収条例を改正

(全員賛成)

犬の登録手数料等の免除対象を、盲導犬に加えて介助犬と聴導犬を含めた身体障害者補助犬に拡大する。

企業職員の給与の種類及び基準に関する条例を改正

(全員賛成)

雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

職員の育児休業等に関する条例を改正

(賛成11人 反対1人)

育児休業等に係る「子」の範囲の拡大等及び、育児時間と介護時間を同日に取得する場合の合計時間数を調整。



その他の主な事業

ひとり親家庭等児童奨学金

ひとり親家庭で保育所等に通う児童及び高校生等を扶養している世帯に対し、奨学金・就学援助金を支給。支給対象者の増加。

子ども医療費助成金

子どもの疾病による保護者の負担軽減を図るため、医療費の一部又は全額を助成。現物給付方式による給付費等の増加。

私立保育園運営費負担金

町内の私立保育園に対する運営費負担金や、町外の保育園に通園する児童の措置費を負担。低年齢児の受入数等の増加。

特別保育事業費等補助金

保育業務支援システム補助金及び事故予防のためのビデオカメラ設置事業（大根布保育園・白帆台保育園）。

妊産婦乳児健康診査委託料

妊婦健診の検査項目の増加により、1人当たりの委託単価が増加。

健康診査等委託料

ヤング健診、がん検診などを検査機関（集団）と医療機関（個別）に委託。受診者数の増加。

116万円

障害者自立支援給付費

4800万円

障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な障害福祉サービスを給付。利用者の増加。

2000万円

障害児福祉給付費

600万円

18歳未満の障害児を対象とした障害児福祉給付。利用者の増加。

2500万円

ふるさと寄附金報償費

250万円

内灘町に対し「ふるさと応援寄附金」を納めて頂いた方へ地元特産品等を贈呈。寄附件数の増加。

220万円

三世代ファミリー同居・近居促進事業補助金

120万円

三世代が同居又は近居を始めるために住宅を新築又は増改築等する方に対する補助。申込件数の増加。

244万円

鉄道施設総合安全対策事業補助金

679万円

北陸鉄道の鉄道線（浅野川線・石川線）における安全確保のため、国、県、沿線市町が支援。追加事業による増加。

220万円

通学バス運行委託料

140万円

運行便数の増加。

指定管理
(全員賛成)
農業委員の公選制を廃止し町長の任命による選任とする。また定数をこれまでの15人から12人に減員し農地利用最適化推進委員を新設。

農業委員会の委員等の定数に
関する条例を制定
(全員賛成)
農業委員の公選制を廃止し町長の任命による選任とする。また定数をこれまでの15人から12人に減員し農地利用最適化推進委員を新設。

条例の制定

請願の審査

不採択

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願

(原案に賛成2人 反対10人)

◎請願者

石川県医療労働組合連合会

執行委員長 東 喜枝

◎紹介議員

北川 悅子

要旨

医療従事者の労働環境改善と、医師・看護師・介護職員などの大幅増員を図り、医療提供体制を充実させ安全・安心の医療・介護の実現を望む。



原案に反対
七田 満男
日本の医師数はOECD加盟国の中で平均以下。労働環境を整える必要がある。



原案に賛成
北川 悅子
日本の医師数はOECD加盟国の中で平均以下。労働環境を整える必要がある。

不採択
請願第13号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

討論!



11月会議 11月29日

補正予算

一般会計補正予算(第4号)
(賛成11人 反対1人)

公共下水道事業特別会計補正予算
(第2号)
(全員賛成)

介護保険特別会計補正予算
(第2号)
(全員賛成)

一般職の給料表及び勤勉手当支給率等を改正

給料表を平均0・23%引き上げ、勤勉手当の年間支給率を0・1月増の1・70月分に改正。扶養手当を平成29年4月から段階的に改正。

防災センター条例を制定

地域防災センター及び防災コム二ティセンターの設置、管理について規定。

福祉センター条例を廃止し展望温泉ほのぼの湯条例を制定

ほのぼの湯の建設により、福祉センター条例を廃止し、新たに展望温泉ほのぼの湯条例を制定。ほのぼの湯設置、管理について規定。

条例の改正等
職員の勤務時間、休暇等に関する
条例を改正

(全員賛成)

育児休業等に係る「子」の範囲を拡大。また介護休暇の請求を分割可能とし、介護時間制度を新設。

議員及び特別職の期末手当支給率を改正

(賛成11人 反対1人)

年間支給率を0・1月増の3・25月分に改正。

指定管理

(全員賛成)

温泉ほのぼの湯の指定管理者に一般財団法人内灘町公共施設管理公社を指定

指定期間はいずれも平成29年4月1日から平成32年3月31日まで。

審議結果一覧

11・12月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田一香	磯貝幸博	七田満男	太田臣宣	生田勇人	川口正己	藤井良信	恩道正博	北川悦子	夷藤満	清水文雄	中川達	南守雄
議案第70号 平成28年度内灘町一般会計補正予算(第4号)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
議案第74号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
議案第75号 常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
議案第82号 平成28年度内灘町一般会計補正予算(第5号)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
議案第93号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
請願第13号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	× × × × ×	× × × × ×	× × × × ×	× × × × ×	× × × × ×	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

○は賛成、×は反対、-議長は採決に参加しません。

白帆台小学校 建設工事すすむ

校舎は地上3階建てで、腰壁など児童が触れる部分は、あたたかみのある木材で仕上げます。省エネルギー対策として、窓ガラスは複層ガラス仕様で、照明器具の一部にLEDを採用します。また、バリアフリーにも考慮しエレベーターも設置されます。



平成30年4月の開校に向けて、工事は順調に進められています。今後、プール、グラウンドなど順次工事が発注される予定です。

小学校
建設特別
委員会

平成28年12月会議より

金沢ケーブルテレビで
本会議を生中継しています

うちなだチャンネル039ch
で見てね！

ケーブルテレビ加入に関する問い合わせ先
金沢ケーブルテレビネット株式会社
☎ 0120-751-114



※視聴にはケーブルテレビの加入が必要です。

総務産業建設常任委員会



のと里山海道への接続道路設置予定地

問 マイナンバー登録人
数と発行時のトラブル
はあるか。

答 11月末で申請が22
45件あり、1783件
が交付済み。発行時の事
故はない。

問 国内観光活性化フォ
ーラム開催は、町のP
Rにつながるのか。

答 県下すべての市町が
補助金を交付する。

答 フォーラムに職員を
派遣する。

道への乗り入れ場所を変
更することで工事費の縮
小が見込まれるため、設
計変更について県と協議
する。

その他質疑・意見

問 金沢弁護士会館建設
負担金支出の根拠は。

答 金沢弁護士会から県
の町長会に要請があり、
活動に公共性が高いた
め県内市町で応分に負
担する。

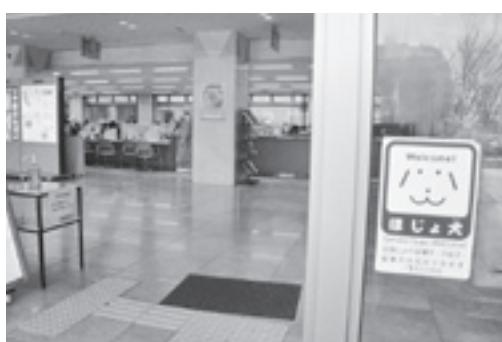
問 農業委員の、公募要
件と町が選考する場合
の要件を示せ。

答 公募要件は、農業に關
する見識を有し職務を
適切に行なうことがで
きる者。町が選考する場
合の要件は、現在作成中。

平成27年度 がん検診の受診状況 (保健センター保健事業報告書より)

項目	対象者数	受診者数	がん 発見者数
肺がん	8,525	2,581	1
胃がん	8,525	1,180	1
大腸がん	8,525	2,058	4
子宮頸がん	6,077	1,423	1
乳がん	5,138	1,315	6
前立腺がん	3,022	712	6

(単位：人)



役場玄関にも「ほじよ犬」マーク

平成27年度は19人、平
成26年度は15人の方にが
んが発見された。

特に多かったのは、乳
がん、前立腺がん、大腸
がん。

(受診状況と結果は左表
のとおり。)

問 障害者自立支援給付
費4800万円の増額
補正の主要因は。

答 制度改正に加えて、支
援の必要な利用者に給
付制度が浸透してきて
おり、各種サービスの利
用延べ人数の増加。

問 役場庁舎に「盲導犬」
を入れる場合、どんな
手続きが必要か。

答 法律により、手続きな
しで「盲導犬・介助犬・
聴導犬」は同伴できる。

文教福祉常任委員会

町政と向う

8人が登壇

一般質問（12月8日）

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

七田 満男 10

- ・小中学校・公共施設トイレの洋式化・温水洗浄便座化について
- ・高齢者の運転免許証自主返納支援事業について

清水 文雄 11

- ・概算事業費 7億3千万円の（仮称）白帆台インター チェンジは必要か。事業を中止する考えはないか
- ・町防災訓練について

ほか2問

夷藤 満 12

- ・蓮湖渚公園をウォーキングが出来るように整備せよ
- ・学校給食共同調理場の建て替え時期はいつか
(公共施設建て替え時期について)

ほか2問

恩道 正博 13

- ・機能別消防団員制度について
- ・耐震改修工事の補助制度について

ほか1問

北川 悅子 14

- ・内灘闘争から学ぶ
- ・融雪工事と住民からの不安

ほか2問

太田 臣宣 15

- ・消雪施設整備計画について
- ・交流人口増加への取り組みについて

ほか1問

磯貝 幸博 16

- ・町長再選出馬表明を受け「明日への元気な町づくり」に向けた政策と決意を問う
- ・交流人口のさらなる促進に向け、オール内灘で受皿づくりを進めよ

ほか2問

米田 一香 17

- ・災害備蓄管理体制の構築と地域防災力の強化について
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業と外出支援策について



学校のトイレを洋式化せよ

100%達成を目指したい 教育部長



七田 満男

問 トイレの洋式化、温水洗浄便座化を進めよ。

答 国内は43・3%、県内は44・2%。町では58・5%で、建設中の白帆台小学校を含めると66・2%となる。公民館などは70・2%、体育施設56・2%、公園69・4%となっている。

問 トイレの洋式化、温水洗浄便座化を進めよ。

問 小中学校、公共施設のトイレの洋式化率は。

答 小中学校の洋式化は今後、大規模改修等にあわせ100%達成を目指し、計画を立てて実現に向け取り組む。温水洗浄便座は、一部の多目的トイレなどに導入済み。

白帆台小学校は各階に配置する予定で、その他の学校でも順次進める。



トイレにもっと愛を



判断は自分で

自主返納事業

問 高齢ドライバーの事故を減らすための対策の一つに運転免許証自主返納支援事業がある。

答 事業内容とその実績は。平成25年に自主返納制度を導入した。返納者にコミュニティバスの6ヶ月定期券と、サンセットカード商品券または北陸鉄道㈱グループ商品券のいずれかを交付している。

これまで175人の方が自主返納をしている。

問 商工会などと協力し、タクシー料金の割引や購入商品の無料配達サービスなど、各種特典を用意し自主返納を促進する環境づくりを進めよ。

答 商工会や商工業者などと免許自主返納時の幅広い特典サービスの拡充を検討したい。





清水 文雄

インターよりソフト面充実を 金沢方面へのアクセスを向上 町長



大型車両は交差できない既設ボックス

問 (仮称) 白帆台インターの構造は概算事業費7億3千万円。※ハーフインダーパスで既設ボックスを活用。ボックス内の車道は4×4・5mのため大型車の交差は困難で片側通行になる。このインターは本当に必要か。

無駄なハード事業よりも、子育て、教育、福祉のソフト面の充実を重視していくべきだ。

答 白帆台地区では小学校や公営住宅の建設事業が進められている。通勤通学の利便性を高めることが定住促進につながると考える。

町の南北の均衡ある発展や北部地区の活性化はもとより、町全体の活力を高めるためにも、金沢方面へのアクセスを向上させる(仮称)白帆台インターチェンジの整備は必要である。

問 4月の熊本地震、10月の鳥取地震、11月22日の福島沖の地震など、自然災害が本当に多い。

9月25日の町総合防災訓練では原子力防災に関しては地域防災計画の示だけだった。

3・11福島原発事故を風化させではない。志賀原発から40キロ圏にある町として、原子力防災への真剣な取り組みが必要だ。町の考え方を問う。

答 訓練当日は、環境放射線モニタリングカーの派遣が日程調整できなかつた。

今後の原子力防災訓練でも環境放射線モニタリングカーの派遣を県に要請し、原子力災害対策のパネル展示を工夫して行なつていきたい。

原子力災害時には、町民にわかりやすい情報伝達を的確に行なうことが最も重要と考えている。

原子力防災の取り組み



平成27年県原子力防災訓練でのスクリーニングの様子(能越道県境PA)

立体交差で、掘り下げ式になつて下の道路。くぐり抜け式通路。

※アンダーパス

2方向にしかアクセスできないインターチェンジ。標準的な構造は、上り線の入・出口、下り線の入・出口の4方向にアクセスできるフルインターチェンジ。

※ハーフインター

その他の質問

問 旧消防庁舎の活用は現時点で具体的な方針は決まっていない。

ウォーキングロードに整備せよ

材質や財源を検討する 町長

夷藤 満

答 公園の利用促進を図り、安全で安心して散策ができる園路となるよう整備に向けて舗装の材質や整備財源などを検討していく。

蓮湖渚公園内に碎石
が敷かれている。若者か
ら高齢者まで安心してウ
オーキングできるよう、
碎石の敷かれたところは
ゴム式やアスファルト舗
装で整備せよ。

答 周辺住民の健康増進の場となるほか、自然に親しむことで、環境意識の向上が期待できる。県が行なう河川改修計画を注視し、国、県に対し周辺自治体で連携した要望活動を行ないたい。

問 河北潟を1周できる
ようなウォーキングロード整備を目指し、県や金沢市、津幡町、かほく市と連携協力せよ。



歩きやすい道へ、みんなの願い

問 働く人が快適な環境で調理することは、食の安心・安全にもつながる県内の学校給食調理場におけるエアコンの設置状況を示せ。

答 県内33カ所中、冷暖房設備がないのは本町を含めて11カ所。

問 学校給食共同調理場の建てかえ時期は、いつごろを予定しているか。

今後、各小学校の大規模改修も控えており、全体的な計画の中で調理場のエアコンの設置や改修も検討したい。

現在の調理場は昭和58年の建設で耐震基準を満たしている。築33年を迎えているが、必要に応じ厨房設備などの更新は適宜実施してきた。

調理場環境の向上を図れ

問 答 免許証自主返納者に
なだバスを永久無料に
した場合の町負担は。
年間50人の返納を仮
定し毎年約100万円
増。

答 家屋の解体助成制度を創設せよ。
先進事例を踏まえ調査研究する。

その他の質問

学校給食共同調理場



機能別消防団員制度導入を 新たに導入し災害に対応する 消防長

恩道 正博



ちびっこ消防団？

耐震化促進事業

答 現在、県内での導入した他市町の補助実績はなく、今のところ補助制度導入は考えていない。

今後、先進地の実績状況や住民ニーズ等を注視しながら調査研究する。

きる制度。県内の実施状況は平成26年度約100件、平成27年度70件。

問 マイホーム取得奨励
金制度の拡充を。
答 平成29年度に制度拡充に向け調査検討する。

その他の質問

住宅の耐震性を調べること。目視調査と間取りから診断する「一般調査」と、家屋調査を行つて診断する「精密調査」とがある。

※簡易耐震診断

一度に耐震改修工事を実施することができない住宅を、段階的に耐震改修する工事。

能力や事情に応じて
特定の活動にのみ参加
する消防団員。

※機能別消防団員



はたらく車体験（向粟崎文化祭）

3 うちなだ議会だより 第128号 平成29年2月3日

内灘鬭争から学ぶ環境を

歴史民俗資料館を拠点に発信

教育長



北川 悅子

問

当時座り込みに参加

答 歴史民俗資料館には、内灘鬭争の資料も数多く展示し、案内図も配布している。看板増設は難しいためPRに努める。

問 平成27年に町文化財史跡に指定された内灘海岸の射撃指揮所、権現森の着弾地観測所への案内標識が訪れた人々にわりにくく不親切だ。

答 管理上のことも考慮し、総合公園等の町有地内で協議を進めたい。

答 小中学校での学びは、独自の資料集を用いて、中学生は図書室前に記事を掲示し学んでいる。



内灘海岸の射撃指揮所跡

消雪施設工事

問 消雪施設整備がすすむなか、地盤沈下の心配はないのか。

答 消雪装置の水源は、これまで使つていた上水道水源の利活用と、既設消雪井戸の交互散水により行なつてている。

また町の地下水への規制は他市町より厳しく、町全体でシユミレーションして許可を出している。

地盤沈下の影響はない。

問 ハマナスと千鳥台の境のボックス内の排水は大丈夫か。

答 ハマナスから千鳥台までの準幹1号線約1キロの区間の雨水は、のど里山海道下のボックス付近に集まる。また消雪散水による雪解け水も同様にこの場所に集まる。

ボックス付近の排水は適正な排水機能を確保しております。



排水は大丈夫

問 国保加入の子どもの均等割保険料をなくせ。廃止や軽減はできな

い。

その他の質問

問 原爆写真展を庁舎、図書館、学校で開催を。

答 開催の周知・展示方法を検討する。



太田 臣宣

切れ目のない消雪計画を

早期に検討する 町長



消雪整備された県営住宅前の道路

問 町長が就任し、いち早く取り組んできた第1期の消雪施設整備が平成29年度完了予定だが、通学路や住民生活道路もまだ整備が望まれる。また避難所へ向かう道路も検討が必要だ。地域柄、ゲリラ的に雪が降り、交通や通勤通学に支障をきたすことも予想される。安心・安全の町を目指す上でも切れ目のない事業推進を望む。

答 平成26年度から今年度まで新規に約6・7キロの消雪施設を整備した。幹線道路、通学路、急な坂道などと同様に、指定避難所など公共施設へのアクセス道路も選定項目に入っており次期の整備計画の中でしっかりと検討したい。また水源などの課題もあるが、次期の消雪整備計画は早期に検討し議会に示す。

総合公園

問 総合公園周辺施設への案内看板を設置せよ。

答 駐車場誘導看板を含め、施設のPRにつながる看板設置を検討する。

問 総合公園周辺では放水路側の整備と屋内多目的広場横の体育館整備が残っている。整備計画を示せ。

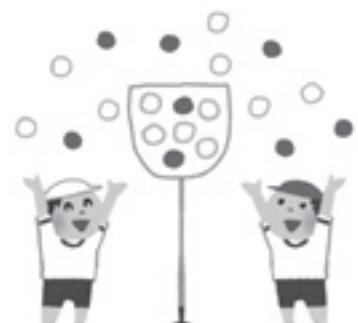
答 平成29年度から放水路側の整備に着手し、完了後、体育館の建設は平成32年度を予定している。

問 その他の質問

答 老朽化が目立つ道路の整備計画は、優先順位を決め計画を立て改修を進める。



12月にオープンした屋内多目的広場



問 来年オープンのほのぼの湯など、周知不足だ。

答 各方面へ働きかけを行なう。ケーブルテレビでのPRなど、さらなる交流人口増加につなげる。

後も国、県など関係機関への要望を力強く行なっていく。

元気なまちづくりへの決意を！

町民福祉の向上を目指す

町長



磯貝 幸博

答 教育環境の整備を第一に考え、中学校をはじめ小学校でも順次教室の冷房設備の整備を進める。町民福祉の向上のために、コミュニティバスを増

答 町のさらなる発展と一緒に、元気なまちづくりに向けた決意は。

問 町長は就任以来、スピード感を持つ町政運営に積極的に取り組み、この4年間で町は大きな変貌を遂げたと感じる。今後、川口町長が目指すまちづくりで、特に取り組んでいく政策を問う。

答 (仮称) 白帆台一Cを整備し、白帆台地区での県営・町営住宅の整備により定住促進を進める。



若者の夢を実現できる町に！（成人式）



広がる交流の輪

交流人口の拡大

問 増加する外国人観光客の誘客につなげるため、町が主導し、高校生や中学生が町内を英語で案内する観光案内ビデオを作成せよ。

答 高校生や中学生がまちづくりに参加することは、郷土愛を育むうえで有効であると考える。町観光協会や内灘高校と連携し、観光ビデオの作成に前向きに検討する。

問 屋内多目的広場を県内・県外を問わず発信し、誘客につなげるための冬の交流イベントを行なう考え方はあるか。

答 町商工会などと連携して検討する。平成29年度はプレミアム観光チケットを販売し、金沢駅周辺の観光客を内灘町へ誘導する事業を実施していく。

問 その他質問

答 **※ネーミングライツ**制度の導入を。先進事例等を参考に調査研究していく。

問 個人番号カードを活用し**※地域通貨**創設を。

答 国の動向を見据え調査研究をしていく。

※ネーミングライツ

命名権と呼ばれ、施設やイベントに企業等が対価を支払い名前をつける。

※地域通貨

限られた地域内で流通する貨幣。商業活性化、ボランティア活動の支援などの目的を持つて発行・利用ができる。



米田 一香

ムダのない災害備蓄を

ローリングストックを取り入れる

総務部長



保育所と連携を（向粟崎保育所）

問 運転免許証保有者の割合は男性85・6%、女性64・8%と男女差が大きく、免許返納は家族の生活にも影響を及ぼす。返納特典のバス利用範囲を家族に拡大し、期間を1年に延長せよ。また、タクシーアイドも実施せよ。

答 高齢者のひきこもりや買物弱者対策、外出支援を合わせて検討する。

問 外出支援は介護予防や地域活性化につながる。支援策の強化をはかれ。また、商工会や町いべントと連携したタクシーアイド制度を創設せよ。

答 今後、コミュニティバスの充実や移動スーパーなど利便性向上にかかる方策を考える。

高齢者の外出支援

問 母乳育児が推奨されており、災害時には安心して授乳できる環境の整備が大切だ。一方、ストレスで母乳が出にくいこともある。常時、粉ミルクは備蓄されているか。

答 備蓄をしていたが、昨年度、粉ミルク10缶を破棄した。消費期限までの期間が1年4ヶ月と短く使い切れなかつた。現在、納品待ち。

問 母乳育児が推奨されており、災害時には安心して授乳できる環境の整備が大切だ。一方、ストレスで母乳が出にくいこともある。常時、粉ミルクは備蓄されているか。

問 町立保育所で粉ミルクの使用があるにもかかわらず、破棄したのは非常に残念だ。

答 保育所と協力して※ローリングストック制度を取り入れ、消費期限切れを防ぎながら常時備蓄に努める。



外へ出かけましょう！

※ローリングストック
備蓄（ストック）を回転（ローリング）させること。日常的に非常食を食べ、食べたら貯め足すということを繰り返し、常に新しい非常食を備蓄することで消費期限切れを防ぐ保存方法。

主体的な取り組みが力ギ

視察 総務産業建設常任委員会
[日程] 11月16～18日

【視察先】

- ・愛知県南知多町、豊田市
- ・油ヶ淵水辺公園(碧南市・安城市)



豊田市の町並み整備

【視察先】

- ・大阪府羽曳野市
- ・おおさかATCグリーンエコプラザ
(大阪府住之江区)
- ・滋賀県大津市



いきいき百歳体操

羽曳野市では、地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業「いきいき百歳体操」を体験しました。負荷が調整できるおもりを手首、足首について行なう体操で、地域の主体的な取り組みがポイントです。

おおさかATCグリーンエコプラザは、環境・防災教育などを広く一般に紹介することを目的とした日本初の常設展示場で、環境問題全般について学ぶことができました。

大津市は、日本一の英語教育を目指し、会話を中心とした英語教育のためすべての小中学校に外国語指導助手を派遣し、ICTの活用で質の高い英語教育を展開していました。

(北川)

地域の声がポイント

視察 文教福祉常任委員会
[日程] 11月16～18日

「伝わる議会広報紙」を学ぶ

研修 議会広報対策特別委員会
[日程] 10月25～26日 [視察先] 東京都



伝わる広報紙を

全国町村議会議長会主催の広報クリニック研修では、伝わる文章の書き方と紙面編集のポイントを学びました。

翌日は、キヤノンデジタルショップで、写真撮影テクニックの講義と実習に参加しました。

普通救命講習

全議員で受講
[日程] 1月26日



まさかに備える

町消防署で普通救命講習を受講し、心肺蘇生法、AED操作法、窒息の対処法や止血法などを学びました。

数年に一度、知識や技術を継続的に学び確認することが重要です。

一般質問のゆくえ

追跡

ありや～
どうなつたがいね～

公園に高齢者向け 健康遊具を設置せよ

介護予防の一環として、高齢者がいつでも気軽に、みずから運動に取り組めるよう健康遊具の整備が必要だ。

平成27年12月会議

清水 文雄

答弁

調査、検討したい

遊具利用者の安全確保を第一に、国の交付金事業を活用して設置できないか調査、検討する。

その後

平成28年10月 鶴ヶ丘中央公園内に健康遊具が完成

腹筋ベンチ、ダブル踏み台昇降、ぶらぶらストレッチ、十字懸垂ベンチの4つの健康遊具が設置されました。



腹筋ベンチでいつでも気軽に体力づくり

町立学校で町歌を 歌う機会を設けよ

郷土愛を養い、町に誇りを持って、大きく巣立つためにも、子どもたちに町の大切な歌である町歌を歌い覚える機会が必要だ。

平成28年3月会議

夷藤 満

答弁

歌う機会を設けていく

ふるさと内灘への誇りと愛着を醸成するための一助として町歌を歌う機会を設ける。

その後

平成28年度 取り組みを始めています

町内すべての小学校で、毎月の朝の歌の中のひとつに町歌を取り入れています。



清湖小学校 朝の歌の時間のようす



議会を傍聴しませんか

3月会議の一般質問は**6日午前10時**からの予定です。詳しくは、町ホームページをご覧ください。傍聴の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

広報対策特別委員会
委員会
委員長 藤井
副委員長 磯貝
員員 北川 七田
員員 満男 満子
員員 幸博 満子
員員 良信 一香

街がどインタビュー

今回紹介する方は緑台の
松田六郎(町高州)さん。
町総合美術展の会場でお
伺いしました。



「人と人の手紙が世界物」

生の喜怒哀楽など田代に
表現する」とがで、新
しい創造の喜びを、来場
者の皆さんと共にじれ
ぱり歌つておまわす。

◆これまでの文化活動中 で心掛けていることは。

○篆刻を通じて、多くの先
生方や友人との出合いで
そ宝物であり、大切にし
ておるといじ。

◆出品作の書・篆刻「鳳凰
于飛」の見所、要点など
アドバイス下さい。

○篆刻は実用以外の趣味的
な印を彫るといじ。方
寸の中に好きな言葉や人

◆全国柔剣道大会出場では
準優勝の経験をお持ちで
すが、内灘町に住んで良

づくりへの積極的な参加
に、新鮮なパワーを感じ
ておます。

かつたと思ひことは。

◆議会への要望などお伝え 下さい。

○議会だよりから町の将来
像がよく分かります。今
後も若い人たちに活躍の
場を提供して下さる。

◆ありがとうございます。



プロフィール
昭和8年生まれ 83才
平成14年 書・篆刻家北室南苑先生に師事
平成21年 内灘町美術展「委嘱作家」の認
定を受く
平成24年 日本篆刻協会常任委員会推挙
(特選・受賞ほか入選歴多数)

年を跨いだ侃侃諤諤の編
集作業も終わり、今年初の
発刊です。

2017年の十二支は

酉(トリ)。申(サル)と

戌(イヌ)の仲裁の為に間

に入つたと言われています。

酉年生まれは鋭い直観力と

行動力があり、面倒見のよ

い方が多いそうです。身近

に思い当たる方はいますか。

酉は元々酒つぼを意味し、
収穫した果実から酒を造る
行為に由来して「物事が頂
点まで極まつた状態」が酉

とも言われています。学業、
仕事、習い事などの成果が

ありそうですね。

酉(トリ)は運気も「取り
込む」年でもあります。皆
様にとって、実り多き一年
となりますように。

〔米田 一香〕